

笠松春まつり盛大に



「ワッショイ!!ワッショイ!!」の掛け声とともに練り歩く町内のみこし(11日)



大勢の人で賑わった「笠松陣屋市」(10日) 産霊神社境内での「ふれあい子供広場」で輪投げを楽しむ子どもたち(10日) 宵まつりでは電飾のみこしも登場!!(10日) オープニングセレモニーで勇壮な演奏を披露する笠松清流太鼓の皆さん(11日) 「新笠松音頭」を踊る婦人会の皆さん(11日) 人気アニメキャラクターの可愛らしい下羽栗の子どもみこし(11日) 天気の良い日には桜の木の下でお弁当をひろげたり、パーベキューをする人たちが賑わいました(桜まつり) 古式ゆかしい伝統芸能「大名行列お奴」(11日)



奈良津堤一带の「桜まつり」には、美しく咲きほころんだ桜を楽しむもと、天気の良い日には、大勢の家族連れや若者のグループが訪れました。
また、十日には「笠松陣屋市」が開催され、本町通り、新町通り、産霊神社周辺が歩行者天国となり、フリーマーケットや即売会などが行われました。
また夜には、産霊神社境内で「宵まつり」が催され、町内のみこしのあと、ものまねショーや抽選会が行われました。
春まつりの最終日の十一日には、朝から町内会自慢の本みこしや花みこしが町内に練り出し、

まつりムードを盛り上げました。
オープニングセレモニーでは、笠松清流太鼓で始まり、町内の保育所や幼稚園の園児の演技に続き、婦人会の踊りで盛り上がりしました。
また、これに続き総勢二百人による笠松大名行列が行われるとまつりムードは最高潮に。お奴の毛槍の妙技に、沿道に詰めかけた大勢の観客から盛んな拍手が沸き上がりました。
なお、行列に先立ち行われた出発式で、(財)十六地域振興財団から同保存会へ道具保全に対する寄附(現金三十万円)の贈呈が行われました。

かさまつまちづくりイベント実行委員会主催の「笠松春まつり」が、桜まつりを皮切りに三月二十六日から四月十一日までの十七日間にわたって開催されました。